

執筆者略歴（五十音順，※は編者）

岩淵 功一

モナッシュ大学アジア研究所所長・教授

早稲田大学法学部卒業。日本テレビ放送網勤務の後ウェスタン・シドニー大学でPhD取得。2001年オーストラリアアジア研究学会最優秀Ph.D論文賞受賞，国際基督教大学助教授，早稲田大学教授を経て，現在モナッシュ大学アジア研究所所長・教授。専門はメディア・文化研究，グローバル化とトランスナショナリズム研究，東アジアの多文化主義研究。著書に *Resilient Borders and Cultural Diversity: Internationalism, Brand Nationalism, and Multiculturalism in Japan* (Lexington Books) *Recentering Globalization: Popular Culture and Japanese Transnationalism* (Duke University Press), 『〈ハーフ〉とは誰か：人種混濁・メディア表象・交渉実践』（青弓社）『多文化社会の〈文化〉を問う：共生／コミュニティ／メディア』（青弓社），『文化の対話力：ソフト・パワーとブランド・ナショナリズムを超えて』（日本経済新聞出版社），『トランスナショナル・ジャパン：ポピュラー文化がアジアをひらく』（岩波現代文庫）など。

金森 マユ

シドニー在住写真家

シドニー在住写真家。物語の語り手や劇作家としても活動。これらの活動を通して，異文化間交流，移住者，日本人・日系人のディアスポラ化をテーマとしている。芸術家のみならず，研究者や地域コミュニティとの交流も活発に行い，NAIDOC Non Indigenous Reconciliation Award，国連メディアピース賞を受賞したほか，Walkley Awards や Conrad Jupiter Art Prize, Olive Cotton Award for Photographic Portraiture, Julie Milowick Photography Prize and Harries National Digital Art Awards のファイナリストにも選出されている。また，ドキュメンタリーを舞台化した作品として *The Heart of the Journey*, *CHIKA: A Documentary Performance*, *In Repose* などが各種芸術祭で上演。

塩原 良和

慶應義塾大学法学部教授

慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（社会学）。日本学術振興会海外特別研究員（シドニー大学），東京外国語大学外国語学部准教授などを経て，現在，慶應義塾大学法学部教授。専門分野は社会学・社会変動論，多文化主義研究，オーストラリア社会研究。主な著作に『共に生きる：多民族・多文化社会における対話』（弘文堂，2012年），『変革する多文化主義へ：オーストラリアからの展望』（法政大学出版局，2010年），『ネオ・リベラリズムの時代の多文化主義：オーストラリアン・マルチカルチュラリズムの変容』（三元社，2005年）など。

田村 恵子

オーストラリア国立大学アジア太平洋学科研究員

オーストラリア国立大学 Ph. D. 取得。専門は日豪関係，女性の移民，戦争の記憶など。著書に *Michi's Memories* (Pandanus Books, 2003), *Gender, Power, and Military Occupations: Asia Pacific and the Middle East* (共著 Routledge, Taylor & Francis Group, 2012), 『記憶の国境線

を越えて』(共著, 御茶ノ水書房, 2012年), 主な論文に Being an Enemy Alien in Kobe (*History Australia*, 10(2), 2013), Meeting, Committing, and Adapting: Japanese War Brides and the Experience of Migration (*Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies* 11(9), 2002) など。

永田由利子

クイーンズランド大学言語文化研究学科上級客員研究員

明治学院大学英文科卒業, 米国インディアナ州立大学応用言語学修士課程卒業, オーストラリアアデレード大学歴史博士号取得, クイーンズランド大学言語文化研究学科シニアレクチャーを経て2013年定年退職。主な著書に *Unwanted Aliens: Japanese Internment in Australia during WW2* (University of Queensland Press, 1996), オーストラリア日系人強制収容の記録 (高文研2002年), *Navigating Boundaries: The Aisan Diaspora in Torres Strait* (共編 Pandanus Books, 2004) など。主な論文に "Japanese-Australians in the Post-war Thursday Island Community" (*Queensland Review*, Vol. 6(2), 1999) など。

※長友 淳

関西学院大学国際学部准教授

慶應義塾大学総合政策学部卒業。クイーンズランド大学 Ph. D 取得, 現在, 関西学院大学国際学部准教授。専門は社会学および文化人類学, 移民研究, グローバル化研究。著書に『日本社会を「逃れる」: オーストラリアへのライフスタイル移住』(単著, 彩流社), 『文化のグローカリゼーションを読み解く』(共著, 弦書房), 『アジアから観る, 考える: 文化人類学入門』(共著, ナカニシヤ出版), *Migration as Transnational Leisure: The Japanese Lifestyle Migrants in Australia* (単著, Brill), *Japanese Queenslanders: A History* (共著, Bookpal), *Feminism and Migration: Cross-Cultural Engagements* (共著, Springer), *Development in Asia: Interdisciplinary, Post-neoliberal, and Transnational Perspectives* (共著, Brown Walker Press) など。

濱野 健

北九州市立大学文学部人間関係学科准教授

ウェスタン・シドニー大学 Ph. D. 取得。専門は社会学・文化研究, 現代日本の社会変動と国際移動および国際結婚や国際離婚などに関する研究。著書に *Searching Better Lifestyle in Migration: The Case of Contemporary Japanese Migrants in Australia* (Lambert Academic Publishing, 2010), 『日本女性の国際結婚と海外移住: 多文化社会オーストラリアの変容する日系コミュニティ』(明石書店, 2014年) など。

舟木 紳介

福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科講師

シドニー大学大学院社会福祉・社会政策・社会学研究科修士課程修了。日本学術振興会海外特別研究員(シドニー大学)などを経て, 現在, 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科講師。専門分野は, ソーシャルワーク, 外国人・移民定住支援。主な論文には, Multicultural Social Work and Ethnic Identity Positioning: A Case Study of Social Welfare Activities by Japanese Community Organizations, *Asia Pacific Journal of Social Work and Development*, 20(1), 2010年など。

水上 徹男

立教大学社会学部教授

立教大学社会学部卒業，グリフィス大学アジア国際研究学部 M. Phil 取得，モナシユ大学人類学・社会学部 Ph. D. 取得。モナシユ大学 Honorary Senior Research Fellow（2009年9月 - 2010年8月）。専門は国際社会論，都市社会学，移民研究。著書に *Creating Social Cohesion in an Interdependent World: Experiences of Australia and Japan*（共編著 Palgrave Macmillan 2016），*The Sojourner Community: Japanese Migration and Residency in Australia*（Brill 2007），*Integration of Japanese Residents into Australian Society: Immigrants and Sojourners in Brisbane*（Japanese Study Centre 1993）など。論文に Japanese Migrants and their Major Organisations in Metropolitan Australia, In *Outside Asia: Japanese and Australian identities and encounters in flux*, (Alomes, et al. eds., Japanese Studies Centre, 2011), 「大都市のスプロール化と統合計画：オーストラリアの都市開発の事例」『世界の都市社会計画』（橋本他編，東信堂，2008年），Leisurely Life in a 'Wide Brown Land': Japanese Views upon Australia, 『応用社会学研究』No. 48（2006），「サバールバン・モザイク：オーストラリア大都市圏におけるエスニック集団の混在化」『日本都市社会学会年報』No. 19（2001）など。

村上 雄一

福島大学行政政策学類教授

クイーンズランド大学 Ph. D 取得。福島大学行政社会学部専任講師，助教授，准教授を経て，2015年4月より福島大学行政政策学類教授。専門は歴史学，十九世紀日豪関係史。所属学会オーストラリア学会および北大史学会。主な著書に『オーストラリアの歴史 多文化社会の歴史の可能性を探る』（共著，有斐閣），『白人とは何か？：ホワイトネス・スタディーズ入門』（共著，刀水書房），主な論文に「クイーンズランドの日本人砂糖黍年季契約労働者のイメージ：1899年から1893年を中心として」（『オーストラリア研究』第15号，2003年）など。

山内由理子

東京外国語大学准教授

東京大学卒業，東京大学大学院修士号取得，シドニー大学 PhD 取得。2012年より東京外国語大学特任准教授。専門は文化人類学，オーストラリア先住民研究。主な論文に Managing Aboriginal Selves in south-western Sydney (*Oceania* 82, 2012 年), Exploring Ambiguity: Aboriginal Identity Negotiation in South Western Sydney (*Environment and Planning A* 42巻, 2010年) など

横田 恵子

神戸女学院大学文学部教授

関西学院大学大学院社会学研究科博士後期課程満期退学。関西学院大学社会学部博士号（社会福祉学）取得。大阪府立大学社会福祉学部講師，助教授，2003年から2004年フルブライト研究員として UC バークレー社会福祉学部在籍。神戸女学院大学文学部，准教授を経て，2010年より教授。専門はソーシャルワーク，ジェンダー研究など。主な著書に『日常性とソーシャルワーク』（共著，世界思想社），『臨床心理的コミュニティ援助論』（共著，誠信書房），『被虐待児童への支援論を学ぶ人のために』（共著，世界思想社），主な論文に The Disempowerment of Migrant women: A Study of Southeast Asian Women in Japan（『社会問題研究』61(1), 2001年）など。

ジャレッド・デンマン

福井県立大学学術教養センター講師

クイーンズランド大学人文学部および教育学部卒業。同大学の言語比較文化学科にて優等学士課程修了後、Ph. D 取得。同学科非常勤講師を経て、2016年4月より福井県立大学学術教養センター講師。専門分野は移民・移住研究。主な著書に *Configurations of Family in Contemporary Japan* (共著, Routledge), 主な論文に *Japanese Wives in Japanese-Australian Inter marriages* (*New Voices* 3, 2009) など。